

各 位

平成 29 年 3 月 30 日

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建
電 話 03-6731-3414

当社元子会社代表取締役に対する損害賠償請求に関するお知らせ

当社は、当社の子会社であったルクソニア株式会社（以下「ルクソニア社」といいます。）の代表取締役 松田健太郎 氏（以下「松田氏」といいます。）に対して、損害賠償を請求するための訴訟を提起致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、平成 28 年 12 月 9 日付で公表しております「平成 28 年 12 月期第 2 四半期報告書及び第 3 四半期報告書の訂正に係る調査状況のお知らせ」のとおり、当社の子会社であったルクソニア社の太陽光発電事業において、会計処理に誤謬の可能性があることが判明したことから、弁護士・公認会計士・社外監査役を含む社内調査委員会（以下「調査委員会」といいます。）を設置し、事実関係の認定及び発生原因、問題点、その他同種事案の有無に関する調査を実施してまいりました。

平成 29 年 1 月 31 日付の調査委員会による調査報告の指摘を受け、当社は過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を修正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを、取締役会の承認を経て決定しております。

当社は、平成 28 年 11 月 22 日付で公表しておりますとおり松田氏に対しルクソニア社の全株式を譲渡しております。株式譲渡の際に、松田氏からルクソニア社の会計処理に不備がない旨の表明保証を得ておりましたが、前述のとおり、不適切な会計処理がルクソニア社に含まれており、松田氏の表明保証違反で損害賠償請求を行うものとなります。

本件によって、当社は、調査委員会による調査のために要した費用、四半期報告書の訂正に要した費用、不適切な会計処理の修正に伴う連結損益計算書の毀損等、少なくとも約 116 百万円の損害を受けていることから 116 百万円を損害賠償請求するものとなります。また、本件に関し、今後新たな損害が発生した場合においては、発生した損害額を請求することを予定しております。なお、刑事上の責任追及につきましても検討を進めております。

また、松田氏からのルクソニア株式譲渡代金及びルクソニア社に対する貸付金の回収については、別途お知らせいたします。

なお、本件につきましては、進展がありましたら速やかにお知らせいたします。

以上